

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名 北海道

学校の概要(平成15年4月現在)

|     |          |    |    |    |    |    |      |     |     |
|-----|----------|----|----|----|----|----|------|-----|-----|
| 学校名 | 網走市立西小学校 |    |    |    |    |    |      |     |     |
| 学年  | 1年       | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 特殊学級 | 計   | 教員数 |
| 学級数 | 1        | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 2    | 8   | 15  |
| 児童数 | 31       | 35 | 34 | 34 | 26 | 24 | 3    | 187 |     |

研究の概要

1. 研究主題

自然に親しみ、自ら課題をもって主体的に取り組む教育活動の充実  
 ~ 自然体験を重視した指導内容、指導方法の工夫・改善及び、自然を学ぶための学習環境の整備 ~

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

・第1学年～第2学年「生活科」  
 ・第3学年～第6学年「理科」「総合的な学習の時間」  
 恵まれた自然環境を生かし、自然体験を重視した学習活動を充実させることによって、「生きる力」を育むことができるため。

(2) 年次計画

平成14年度

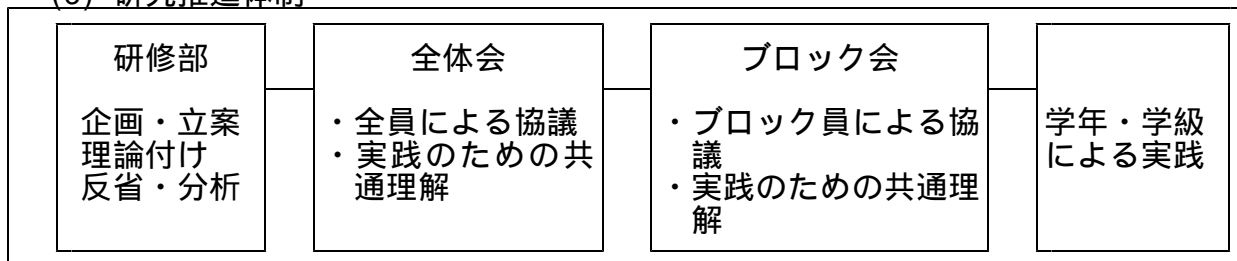
テ・マ  
 自然に親しみ、自ら課題をもって主体的に取り組む教育活動の充実  
 仮説  
 1 豊かな自然と出会うことによって、子どもたちの心がときめき、学びの願いが芽生えると同時に、指導体制(TT)の工夫を図ることにより、「自然に親しみ、興味をもって学習する子ども」に育つであろう。  
 2 発達段階に応じた聞き方・話し方・学習態度を定着させ、学習の仕方を身に付けさせることにより、意欲的にかつ自ら進んで学習に取り組むようになるであろう。  
 研究内容・方法  
 ・学習環境の整備(昆虫や植物の飼育栽培、標本作成・展示、栽培園整備、ピオトープ作成、樹木や野鳥の観察環境の整備)  
 ・自然環境を生かした理科・生活科・総合的な学習の時間の授業実践

平成15年度

テ・マ  
 自然に親しみ、自ら課題をもって主体的に取り組む教育活動の充実  
 仮説  
 1 豊かな自然と出会うことによって、子どもたちの心がときめき、学びの願いが芽生えると同時に、指導体制(TT)の工夫を図ることにより、「自然に親しみ、興味をもって学習する子ども」に育つであろう。  
 2 発達段階に応じた聞き方・話し方・学習態度を定着させ、学習の仕方を身に付けさせることにより、意欲的にかつ自ら進んで学習に取り組むようになるであろう。  
 研究内容・方法  
 ・ミニ自然博物館の設置(動植物の標本、パネルコーナー)(実験・観察作品コーナー)(飼育コーナー)(資料コーナー)  
 ・学校周辺の自然環境の教材化(植物等の教材マップの作成)を図りながら、これらを活用した授業実践の充実  
 ・児童が自分の課題に応じて、学習方法を選択し、学習を進めることができる教材の開発  
 ・一人一人が見通しをもって学習を進め、科学的に問題解決を図る観察・実験のプログラム開発  
 ・目標に準拠した評価や個人内評価など、児童の達成状況を把握し指導に生かす評価方法の開発

|                |  |
|----------------|--|
| 平成<br>16<br>年度 | <p>テ・マ<br/>自然に親しみ、自ら課題をもって主体的に取り組む教育活動の充実</p> <p>仮説</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>豊かな自然と出会うことによって、子どもたちの心がときめき、学びの願いが芽生えると同時に、指導体制（TT）の工夫を図ることにより、「自然に親しみ、興味をもって学習する子ども」に育つであろう。</li> <li>発達段階に応じた聞き方・話し方・学習態度を定着させ、学習の仕方を身に付けさせることにより、意欲的にかつ自ら進んで学習に取り組むようになるであろう。</li> </ol> <p>研究内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>仮説検証の授業実践</li> <li>平成15年度の継続<br/>（自分の課題に応じて学習を進めることができる教材の開発並びに科学的に問題解決を図る観察・実験のプログラム開発、児童の達成状況を把握し、指導に生かす評価方法の開発）</li> <li>児童が主体的に学習する授業をつくりあげ、確かな学力を図り、3年間の研究のまとめをする。</li> </ul> |
|----------------|--|

### (3) 研究推進体制



### 平成15年度の研究成果及び今後の課題

#### 1. 研究成果

|  |
|--|
| <p>年次計画に沿うとともに、昨年度の課題の解決を図りながら推進を行った。成果としては、次の4点があげられる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>身近な自然に焦点を当て、自然を調べようとする意欲や疑問を喚起するための環境整備の充実（「生物とその環境」領域を中心に） <ul style="list-style-type: none"> <li>ミニ博物館の設置（動植物の標本の展示、理科学習コーナー、作品コーナー等）</li> <li>ビオトープの整備・充実（昨年度のものに水生植物等を移植）</li> <li>昆虫等生き物の飼育の通年飼育（自然とのふれあいの充実）</li> </ul> <p>環境整備のより一層の充実を図ることで、児童の興味・関心が高まり、それが教科の学習にもよい影響を及ぼしている。</p> </li> <li>体験活動、学習活動の充実・向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>「生物とその環境」領域における五感を通じた教材との出会い</li> </ul> <p>生きた教材を児童に意図的に関わらせることで、児童の「感じる心」や「考える力」が高まるとともに、実感する喜びや楽しさを味わう子どもが増えた。</p> </li> <li>指導に生かす評価の工夫 <ul style="list-style-type: none"> <li>学習前後の児童へのアンケート調査（個人内評価）の実施</li> <li>個人カルテの活用</li> <li>継続的なノート指導</li> </ul> <p>児童の実態を的確に把握（評価）することにより、全体的な傾向や個々の児童の関心・意欲に基づいた適切な指導や支援に生かすことができた。</p> </li> <li>指導体制（TT）の工夫・改善の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>理科の基礎・基本をどの子にも身に付けさせるための支援の工夫</li> <li>課題選択学習の効果的な推進</li> <li>児童の科学的な思考をゆさぶる教師の役割の明確化</li> </ul> <p>個々の児童へのきめ細かい指導がより充実し、どの子も習熟度が高まるとともに、学習への意欲の高まりが見られるようになってきた。</p> </li> </ol> |
|--|

## 2. 今後の課題

- 研究の最終年度となる平成16年度の課題・方向性について
- (1) 環境整備のより一層の充実とその活用の在り方
    - ・児童の興味・関心を高める校外・校内学習環境の整備、充実
    - ・通年を通して、環境の活用を図る取組の充実（休み時間、放課後の活用）
    - ・補足的な学習、発展的な学習に資する学習環境の場の設定
  - (2) 理科学習と他教科との関連・結び付き
    - ・校外・校内学習環境を生かした生活科・総合的な学習の時間の充実
    - ・「個に応じた指導」に生かす評価活動の充実（生活科・総合的な学習の時間）
    - ・補足的な学習・発展的な学習の拡大（生活科・総合的な学習の時間、他）
  - (3) 指導に生かす評価活動の改善・充実
    - ・目標に準拠した評価を生かした習熟度別指導の在り方
    - ・評価規準を生かす評価方法の改善・工夫
    - ・形成的な評価を補足的な学習・発展的な学習につなげる工夫
    - ・児童・保護者への習熟度別指導の理解・納得を図る取組の充実
    - ・指導と評価の一体化を図る取組
  - (4) 問題解決能力の向上を目指す単元の構築
    - ・補足的な学習、発展的な学習など「個に応じた指導」のための単元の開発
    - ・習熟度別指導の年間指導計画への重点化・位置付け
  - (5) より効果的な指導体制（TT）の工夫・改善
    - ・児童の理解・習熟の程度に応じた少人数指導やTTを生かした授業スタイルの充実
    - ・個々の児童の学習相談（学習コース選択）に応じる指導体制の在り方
    - ・他教科に生きる指導体制の工夫

### 学力等把握のための学校としての取組

- (1) 児童個々の学習個人カルテを作成し、一人一人の児童の学力の実態や傾向の把握に努めている。
- (2) 個人内評価を含めた形成的評価及び単元末の総括的評価を通して、児童個々の学力把握に努めている。

### フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- (1) 研究会、講演会等の実績
  - 「平成15年度 理科講演会」
    - 期日：平成15年7月11日（金）
    - 会場：網走市立西小学校
    - 対象：網走市立西小学校教員、網走市理科サ・クル部員 計25名
    - 内容：学校周辺の植物の生態について（野外観察を含む）
  - 「平成15年度第1回道東地区学力向上推進協議会」
    - 期日：平成15年9月26日（金）
    - 会場：網走市立西小学校
    - 対象：平成15年度道東地区学力向上推進協議会（27名）
    - 目的：学力向上フロンティア事業実施要綱に基づき、道東地区における本事業の円滑な実施及びフロンティアスクールにおける実践研究の成果の普及等について協議等を行う。（公開授業、研究協議、研修会等）
  - 「平成15年度第2回道東地区学力向上推進協議会」
    - 期日：平成15年11月28日（金）
    - 会場：別海町立西春別小学校
    - 対象：平成15年度道東地区学力向上推進協議会（27名）
    - 目的：学力向上フロンティア事業実施要綱に基づき、道東地区における本事業の円滑な実施及びフロンティアスクールにおける実践研究の成果の普及等について協議等を行う。（自校の研究成果の報告）
- (2) 研究成果の普及実績及び予定
  - 上記、研究会での研究発表・研究協議及び交流
  - 学力向上フロンティア事業に係る成果普及資料の作成（平成15年11月）
  - HP作成・更新（平成16年1月～3月）
- (3) 次年度の予定
  - 公開研究会（平成16年11月中旬）

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

【新規校・継続校】  15年度からの新規校  14年度からの継続校

【学校規模】  6学級以下  7～12学級  
 13～18学級  19～24学級  
 25学級以上

【指導体制】  少人数指導  T・Tによる指導  
 一部教科担任制  その他

【研究教科）  国語  社会  算数  理科  
 生活  音楽  図画工作  家庭  
 体育  その他（総合的な学習の時間）

【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】  有  無